

# 関常幸 議会報告

第26号  
2012.4

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関常幸  
南魚沼市浦佐2015番地  
TEL 025-777-2245



## 国民のための政治を！

不安と期待でスタートした「浦佐認定こども園」の、第1回卒園式に参加した。壇上に並んだ1期生52名は、一人ずつ園長先生から卒園証書をもらい、将来の夢を話すわが子に、涙するお母さん方の姿を見、涙を禁じえませんでした。

市から民間に運営させるという事で、多くのご意見やご心配をいただきましたが、52名の堂々とした園児の姿にふれ、そして、何よりも保護者の皆さんの先生方への信頼感が伝わってきた。

それに引き替え、日本国を預る「せんせい」方と言ったら・・・？ 浦佐こども園の先生方を見習えと言いたい。0歳児から5歳児まで約200人、子どもを真ん中に、子ども第1を理念として運営している。民主党の「国民の生活が第1」は棚上げされたようだ…。あの悲惨な3.11から1年が過ぎたのに、被災地の復旧・復興のスピード感が全然ない。このこと一つをとっても、民主党政権および国会議員の先生方は何をしているのか・・・。

昨年11月ブータン国王と王妃の来日は、日本中に心温まる感動を与えた。国民の97%が幸せと話す、ブータンの国は、決して経済的に豊かでない。日本のリーダーは、私たち国民を幸せにすることを、忘れていてのではないか・・・！

少子高齢・人口減少が続き、今までのように経済発展が望めない中で、従来型の政治家は必要ない。ふるさとを想い、私たちの地域に足繁く通い、現場を大切に、私たちの声を国政に届ける国会議員でなければならない。

今、国会で野田首相は、身内から多数の造反があり、いつ解散総選挙になってもおかしくない状況だ……。本当に日本の将来を想い、私たちの地域を想い、一緒に汗してくれる国会議員を、今度こそ、この新潟5区から送ろう。

※日本人の幸せ感は、昨年の調査によれば60.4%。仕事環境がよく、家族を大事にし、近所づきあいのある人が、幸福度が高い。



浦佐認定保育園 第1期生卒園

## 3月定例議会 ～ 平成24年度一般会計予算は323億円！

三月一日から十九日まで、定例議会が開かれた。三月議会は予算議会とも言われ、予算審議が活発に行われた。

今年の予算は、昨年の豪雨災害復旧、大原運動公園整備、図書館・特別支援学校建設、赤石保育園改修、藪神小改修、道の駅開設、住宅リフォーム助成等、昨年比8.3%増の予算。特別5会計、病院会計、水道会計を合わせると、五七三億円。

共産党団を中心に、反対意見や一般会計に修正動議が提出されたが、原案通り可決した。

財政健全化の指標となる、実質公債費比率、平成18年の24.6%から平成22年20.7%に下がってきており、現在の分析では将来への心配は無いが、今年度、災害復旧費や計画になかった、特別支援学校建設などがあるので、近いうちに平成33年までの財政シミュレーションが示される。

合併以来、野球場建設問題は、多くの時間と議論を費やし決着を見た。もう、政争の道具にしないと思う！

## 一般質問(3月9日)

### ●新市立病院(六日町、大和)建設は、現場の医師・先生の声聴いて

先日は3月議会、開会中にもかかわらず、裸押合大祭に、井口市長、阿部議長をはじめ大勢の議員諸氏から、参加いただきありがとうございました。

東日本大震災で、当市に避難されている皆さん10名の方から、餅まきに参加していただいた。市長は挨拶で、みなさんを紹介したので、参拝者の大勢のみなさまから、激励がありました。餅まき終了後、皆様からの暖かい応援に、勇気をもらい頑張りますと言っておられた。

それでは、先の通告にもとずき質問する。

先の12月議会で桑原議員、佐藤議員、腰越議員の3名の同僚議員が、そして2月9日に地域医療対策調査特別委員会が開催され、新六日町病院、新大和病院、城内診療所のあり方について議論された。

基幹病院の機能はご存じのように、救急救命医療、高度先進医療(がん、心疾患や脳卒中、周産期母子医療)災害時医療の拠点センター、総合的な精神科医療、その他として透析医療や急性期のリハビリだ。

基幹病院の機能に地域医療の充実とあるが、その内容は①地域医療支援病院を目指す。②周辺病院に医師派遣システムの構築。③周辺病院と診療情報の共有化を検討。と、されており、地域医療を担うのはまさに市立病院だ。そういう視点から市長に伺う。

もし、基幹病院構想がなかったなら、旧大和町で提唱した健康・医療・福祉が一体とな

った「ゆきぐに健康の杜」構想を理念とした「南魚沼市健康の杜」が実現し、基幹病院が建設される場所に、新市立病院が今頃は建っていた。

県立小出病院の老朽化問題から、平成14年6月に県議会で、県知事が魚沼に基幹病院を、新たに整備すると発表し10年。

建設場所問題等、紆余屈折があり、ようやくここまで来た。基幹病院が大和病院の駐車場に建設されることから、大和病院は閉院するのでは…とか、医師不足等で、基幹病院や将来の市立病院のあり方について、内外から様々な憶測や話がもちあがる……。

すでに基幹病院の基本構想や整備計画のなかで、市立病院(新六日町、新大和)の役割や連携が示されておるが、大和病院の先生は、地域医療を守るために、新六日町・新大和病院のあり方について、市長に中間報告として提出した。

今年に入り、基幹病院を建設する業者が決まり、運営する財団の理事長も決まる。基幹病院は、やまと病院の駐車場に雪解けを待つて建設が始まる。それに伴い、24年度には、市立病院の整備方針を定め、実施設計を行うなどの病院再編関連予算として8,000万円が計上された。

新六日町、新大和病院の整備方針の考えを問う。

### <市長>

南魚沼市の中核病院は、新六日町病院。新大和病院は、大和地区の地域医療のために存続させる。両病院の病床数、診療科目、建設場所等の内容については、地域医療の充実と更なる発展のためにも、現場の医師・先生の見解を尊重して建設する。

ト  
ピ  
ク  
ス

1/22 関常幸後援会新年会



1/29 長島代議士新春の集い

2/2 産業建設委員会  
「道の駅」現地調査



2/5 第44回自民党  
大和支部定期大会

# 3月議会概要(1日~19日)

## ★ 市長所信表明



豪雨災害からの復旧を早急に完了させ、安全・安心なまちづくりを進めることを第1に取り組む。また、国内外の政治、経済の混迷により、本市を取り巻く環境も依然として厳しい状況ですが、「行動することで難局を打開し、希望の光をもたらす」よう努めていく。

魚沼基幹病院の建設、大原運動公園整備、図書館整備の開始など新しい希望に向けての事業に着手する。

### <重点施策の概要>

- ・子育て支援では、学童保育、保育園等の施設整備、病後児保育園実施園の拡充。
- ・保険医療では、ワクチン接種等に助成。六日町、大和病院の整備方針の検討。
- ・福祉では、魚沼荘改築に向けての基本設計の実施。
- ・教育では、特別支援学校の建設。弱視学級や発達障害通級教室を新たに設置。
- ・地域公共交通協議会を立ち上げ、実証実験を行い、公共交通のあり方を検討。
- ・財政健全化は、行政改革大綱アクションプランの進行管理を確実に行う。

## < 平成 24 年度一般会計予算に反対議員 7 名……！ >

● 13日から4日間の予算審議を終え、共産党団は毎年一般会計予算に対し、反対するのは承知していたが、24年度予算は大原運動公園整備事業・総額21億円、今年度8億6千万円建設着手の予算なので、大原運動公園整備事業のうちで、野球場建設部分に対し、共産党以外の議員からも修正動議は出ると予想していた。

しかし、修正動議の内容を見て驚く！！野球場建設部分の修正でなく、大原運動公園整備事業そのものを削除している。又、さらに驚いたことに、図書館整備事業6億5千万円をも削除している……。修正動議提出者は、寺口議員、賛成者は牛木・笠原・岡村議員。

修正動議提出の理由に寺口議員は①財政の健全化が先と言う。しかし、今回の大型投資や水害の復旧予算を計上しても、財政は確実に健全化の方向に向かっている。②そして、大原運動公園整備地域は土砂災害警戒区域であるので反対、と意味不明の事を言う。③図書館整備事業は、街づくり会社への公金注入で問題だ……と、これも視野の狭い考えだ。

提案者の説明を受け、原案賛成議員3名が、修正動議賛成議員3名が登壇し、厳しくはげしい討論が行われた。

わたしは、南魚みらいクラブ8名を代表して、24年度一般会計に賛成の立場で討論する。

<討論の概要> 合併して7年。財政の健全化を図りながら、ごみ焼却炉、福祉センター、消防庁舎、学校の耐震化等既存施設の大規模改修等、新市を固める事業を行ってきた。今年度予算は、豪雨災害の復旧が最重点である。また、今年度は合併前の市民との約束である、野球場建設を含めた大原運動公園整備事業、図書館建設事業を計上した予算であり市民の期待も大きい。特に図書館は合併前の負の財産であった「街づくり会社」を再興させるべき手段を講じ、併せて市の中心・駅前通りを活性化させようとの計画は評価する。そして、特別支援学校建設の英断にも敬意を表す……。

採決の結果、賛成18名、反対7名で、24年度一般会計予算は原案通り可決する。

2/6 「TPP」を政務調査



3/3 撒与講中「福餅」奉納



3/12 常蔵「十二講」祭り



3/20 長島代議士国政報告会  
(大和地区8カ所)

## かわら版(ミニ情報)

### ★「裸押合大祭・ねこたたき」(3月4日)

今年度の大祭も無事終わり、昨日の人出が嘘のような境内であるが、押合大祭の余韻がのこる毘沙門堂にお礼の参拝に大勢の方が訪れる。

多聞青年団員は、帰宅したのが真夜中にもかかわらず、今日は早朝より大祭の後片付けに黙々ととりかかっている。11時過ぎ最高幹部の号令で、手の空いた団



3月3日「福」に授かろうと多くの参拝客



ねこたたき

員が集まり、1枚、2枚と「ねこたたき」を行う。

正午、多聞青年団の総会だ。団長の法被が後輩に引き継がれる。この団長法被の引き継ぎ式には、団員以外、誰も入れない。障子越しに感謝の声と号泣する声が聞こえる……。大行事を成しとげたものにしか解からない。

※「ねこ」とは、稲わらで編んだ大きなゴザの事をいい、11月3日に青年団が編む、押合大祭の道具である。藁の中に、「金杯」や「福餅」等が、稀にまぎれていることがあるので、それを探す行事。

### ★まちづくりフォーラム～毘沙門堂 普光寺本堂にて開催(3月11日)



山崎先生

県内から150名を超える参加者が普光寺本堂に集まった。講師の山崎亮先生は、「コミュニティデザイン」という新しい手法で、多くの過疎の町を再生させている。今日は2009年から取り組んだ島根県の人口4,200人、高齢者率40%の海士町が、新规定住者が230人増えた

まちづくりの実践を話す。目から鱗とはこの事か!

「毘沙門様千年のまちづくり」に、大きな示唆を与えてくれた。しかし、現実は厳しい。毘沙門通りから浦佐駅西唯一のスーパーが、3月末で店を閉じた。

まちづくりの新たな展開(ワークショップから実践)第2ステップが必要だ。



普光寺本堂一杯の聴講者

### ★大和中学卒業式(3月6日)

第44回卒業式が厳粛の中に行われる。148名の卒業生一人一人に卒業証書が手渡される。卒業記念合唱「旅立ちの日に」を歌う



### ★浦佐小学校卒業式(3月23日)



目頭を押さえるお母さん。6年間の思い出を思い出したのでしょうか。

### ★浦佐こども園卒園式(3月28日)

1期生52名は、園長先生から卒園証書をもらい、お母さん、お父さんの前で、将来の夢を話す。



## 編集後記

◇今年の消雪は、4月下旬と、予想されます。田植えの最盛期も、5月下旬と平年より遅くなるので、田植え日を決めて播種をする。豊作は健苗が七分作。

◇生産調整の県間調整が順調でないようです。自らの農業改革が必要になってきた……。

◇議員任期も半ばを過ぎました。初心忘れことなく「現場中心」で行きます。

◇3月議会で新年度予算が決まり、新年度がスタートいたしました。浦佐地区各町内ごとに「市政懇談会」を行います。多くの意見を伺えるとありがたいです。お気軽にご参加ください。日程は後日配布。